



特集  
EMS事業

# 今、お客様に選ばれるEMS

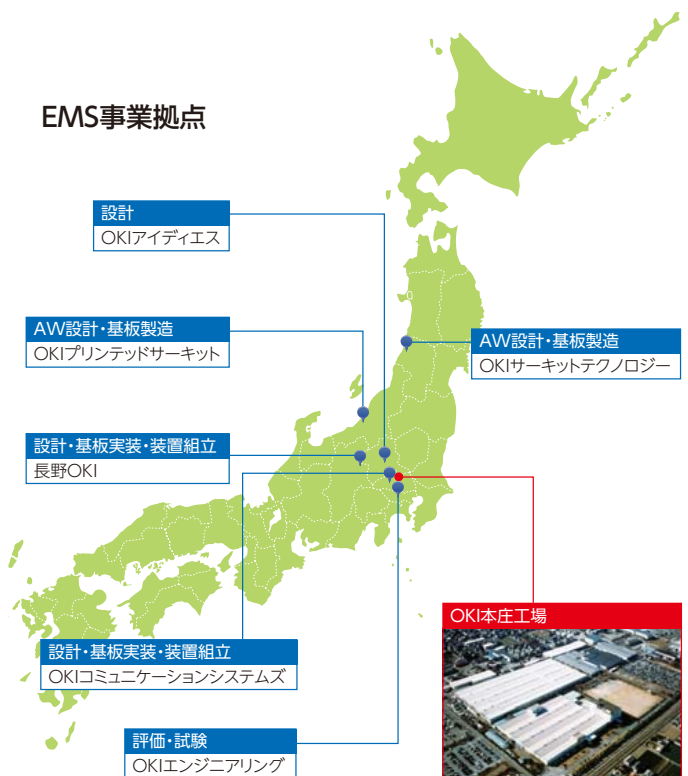
2002年の事業開始以来、成長・拡大を続けるOKIのEMS事業。海外のメガEMSベンダーが追従できない「日本型EMS」を展開し独自のステータスを作り上げ、さらなる発展を目指しています。



## 「Advanced M&EMS」とは

OKIは、情報通信分野のモノづくりで培った設計・生産技術と豊富な実績をベースにした、メカトロニクスおよびエレクトロニクスの生産受託サービスを行っています。従来のEMS（生産受託）にDMS（設計受託）のプロセスも内包した、設計・開発から量産までのワンストップサービスを実現し、マザー工場であるOKI本庄工場をはじめとする国内グループ会社において、お客様のバーチャル・ファクトリーを目指したハイエンド型EMS事業を展開しています。OKIのEMSを活用するお客様のメリットとしては、(1)お客様のリソースを商品企画・販売などのコアに集中することで、製品開発の迅速化とキャッシュ・フロー改善を実現(2)お客様の独自技術やアイデアと、OKIの独自技術や生産ノウハウの融合による、付加価値の高い製品の創出(3)固定資産や設備投資などの工場費用の変動費化による、売上変動リスクへの追従(4)お客様が企画・開発した製品のスピーディーな市場投入、などが挙げられます。

### EMS事業拠点



## 4つの競争優位性

OKIは電話網や各種通信機器など、決して止まることが許されない社会インフラ製品を130年以上作り続け、高品質・高信頼性を実現する技術をその中で培ってきました。また、自社製品の製造において、長年に渡る多品種少量生産の実績を誇っています。これらの経験と実績を背景に、独自の技術やノウハウをEMS事業に展開しています。

さらに、これまでの多くのお客様との取引で、多品種少量品を効率よく生産するノウハウを蓄積しフレキシブルな生産ラインを磨き上げてきたほか、全社員が常に作業効率を追求し、工程内を「見える化」して、納期意識にこだわりを持って取り組んでいます。OKIグループとしてのスケールメリットや、部材のグローバル調達による効果はもちろん、JIT生産方式による加工費低減のシナジー効果などにより、低コストを実現しています。

## 現在の取り組み

2012年度に行った田中貴金属工業株式会社からのプリント配線板事業取得に続き、2015年度は横河マニュファクチャリング株式会社の青梅事業所を取得しました。これにより、横河マニュファクチャリングが国内で生産していたプリント配線板と基板実装の全量を受託し、生産を開始しました。青梅工場は、プリント配線板から基板実装までの一貫生産が可能であり、短納期を要望されるお客様の開拓に貢献しています。

EMS事業は2002年に事業を開始以来、通信機器、産業機器、計測機器、医療機器と市場開拓を進めながら、事業を拡大してきました。今後も、競合他社とは一線を画し、OKI-EMSの強みである高品質・高信頼性、多品種少量生産が求

## OKIが選ばれる4つの理由

### 1 高品質・高信頼性のモノづくり

品質、信頼性において世界的にも評価の高い日本の「モノづくり」の最前線で培ったノウハウや技術力をお客様製品に展開します。

### 2 多品種少量生産の対応力

自社製品で磨き上げてきた多品種少量生産のノウハウをベースに、他社が「やりたがらない」製造委託のニーズにも柔軟に対応します。

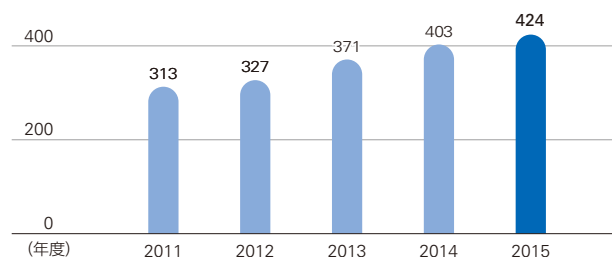
### 3 フレキシブルな納期対応

短納期対応はもちろん、突然の納期変更に対しても、きめ細かく対応します。

### 4 徹底したコスト低減

OKIグループのスケールメリットを活かした低コスト調達に加え、改善の繰り返しや創意工夫により、加工コストを低減します。

売上高  
(億円)  
600



められる製品の顧客開拓を進めるとともに、エネルギー分野や航空・宇宙機器など新たな市場の開拓にチャレンジし、さらなる事業拡大を図ります。

## 人命を預かる製品であることを自覚し、より高品質なモノづくりに努めています。

医療機器は、不具合が人命に関わる大事故につながりかねないため、極めて高いレベルの作業基準の遵守が求められます。高品質のモノづくりには相応の自負がありましたが、医療機器では情報通信機器の常識と異なるモノづくりが必要でした。カルチャーショックもありましたが、人命を預かる医療機器をつくるという価値観の向上と使命感に目覚めました。現場の士気も高く、独自の治具を考案するなど、日々、創意工夫を重ねています。

Voice

EMS事業本部 EMS生産第二課 木村 高雄

